

骨・軟骨・筋肉科学 Update

2021年秋号 (第1号)

REVIEW / レビュー

軟骨再生治療の現状と展望

iPS細胞由来軟骨移植治療の開発

妻木 範行 (大阪大学大学院 医学系研究科 / 生命機能研究科 組織生化学
京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 臨床応用研究部門)

FGF23とミネラル代謝

福本 誠二 (徳島大学先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター)

TOPICS / トピックス

関節リウマチの骨破壊の新しいメカニズムの解明

形質細胞による傍関節性骨粗鬆症の誘導

小松 紀子 (東京大学大学院医学系研究科 免疫学)

関節軟骨の維持機構に関する知見

斎藤 琢 (東京大学大学院医学系研究科 感覚・運動機能医学講座 整形外科学)

TECHNICAL NOTE / テクニカルノート

遺伝統計学で骨代謝を理解する - 基礎編 -

友藤 嘉彦、岡田 随象 (大阪大学大学院医学系研究科 遺伝統計学)

BONE SUMMIT / 骨サミット

骨代謝研究を俯瞰した骨粗鬆症治療の未来

井上 大輔 (帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座 内分泌代謝研究室 教授)

竹内 靖博 (虎の門病院 副院長・内分泌センター長)

田中 栄 (東京大学医学部 整形外科教室 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻
感覚運動機能医学講座整形外科学 教授)

松本 俊夫 (徳島大学 名誉教授 藤井節郎記念医科学センター 顧問)



骨の謎に迫る
骨の病気に挑む

日本骨代謝学会

「骨・軟骨・筋科学Update」の創刊に向けて

一般社団法人 日本骨代謝学会
理事長 福本 誠二



人口の高齢化に伴い急増する骨粗鬆症・変形性関節症・サルコペニア等の運動器疾患による身体活動能力の低下は、高齢者の健康寿命の延伸や生活の質の向上に対する重大な障害となっています。日本骨代謝学会は、内科・整形外科・産婦人科・老年科・小児科・歯科などの臨床研究者と、生化学・生理学・解剖学・栄養学・病理組織学・疫学・統計学・発生生物学・分子生物学などの幅広い基礎研究者により構成され、多領域の研究者が連携してこれらの疾患の発症機序の解明や診断・治療法の開発をはかることを目的として、前身の骨代謝研究会から発展して1983年に設立され、2017年からは一般社団法人として活動を行っています。

日本骨代謝学会では上記目的を達成するために、(1)年1回開催される学術総会での研究発表による骨・軟骨・筋肉疾患に関する国内外の情報交換と交流促進、(2)骨・軟骨・筋肉に関する優れた研究発表の為に国際誌 *Journal of Bone and Mineral Metabolism* 誌の毎年6号の刊行、(3)骨・軟骨・筋肉疾患に関する調査・研究への助成、(4)次世代を担う優れた骨・軟骨・筋肉研究者の育成の為に顕彰、(5)骨・軟骨・筋肉関連研究に関するホームページ等を通じた最新情報の提供などに取り組んでいます。

一方、従来、運動器疾患に関連する情報を提供する各種の日本語出版物が刊行され、本領域研究者や臨床医にとって迅速かつ簡便な情報収集手段として活用されてきました。しかし近年、製薬業界の自主規制や利益相反による情報の公平性に関する疑念などの社会的な背景から、これらの情報誌の殆どが廃刊や休刊に追い込まれています。

このような状況を背景として日本骨代謝学会は、エキスパートにより選ばれた重要な骨・軟骨・筋肉疾患に関する最新の基礎的・臨床的研究成果を本学会員に迅速かつ的確に提供すべく、本学会主導で新たな運動器科学の情報提供誌を企画・編集し、ホームページに年2回掲載する新事業をスタートさせました。

本新学術誌「骨・軟骨・筋科学Update」が、運動器科学の最前線の情報に触れて戴く契機となり、先生方の今後の研究、診療活動の進展に寄与することができれば幸甚です。

骨・軟骨・筋科学 Update

2021年
秋号 (第1号)

CONTENTS

「骨・軟骨・筋科学 Update」の創刊に向けて.....2

REVIEW レビュー 04

軟骨再生治療の現状と展望
iPS 細胞由来軟骨移植治療の開発.....4

FGF23 とミネラル代謝.....8

TOPICS トピックス 12

関節リウマチの骨破壊の新しいメカニズムの解明
形質細胞による傍関節性骨粗鬆症の誘導.....12

関節軟骨の維持機構に関する知見.....15

TECHNICAL NOTE テクニカルノート 18

遺伝統計学で骨代謝を理解する —基礎編—18

BONE SUMMIT 骨サミット 21

骨代謝研究を俯瞰した骨粗鬆症治療の未来.....21

1. 重症骨粗鬆症患者と骨形成促進薬の登場.....21
2. 骨形成促進薬投与前の治療薬による治療効果の比較について.....24
3. 骨形成促進薬治療終了後の後治療について.....25
4. デノスマブによる骨吸収抑制治療後の課題について.....27
5. ビスホスホネート使用が推奨される病態等について.....29
6. むすび.....31